

鹿ノ台川柳教室

四月十八日(火)

頑固(連記) 坪田 登美選

祖父に似る頑固なところかわいそう

えいじ

ガリ版で賀状を送るアナログ派

千 楽

頑々な父であつたが母笑顔

乃り子

ガンコでも良い人だったと言われたい

百合子

風邪ひいてなかなか咳が止まらない

俊 八

頑なに拒んだ挙句遅く散る

正 清

島つむぎ手織りに込めた一本気

ばんゆう

片意地な背中に味方去っていく

よう子

べろべろに酔つても頑固肩組まず

義 雄

頑固者夫の中に父を見る

哲 子

一心を通す火の業水の業

良 一

物分かりいいと言われて腹が立つ

英 二

説得をされると引けぬ嫌な癖

アキラ

片意地を通せば視野が狭くなる

勝 利

燵火の国の復興祈るもっこすで

宏 樹

軸伝統の裏で息づく頑固者

登美

自由吟（共選） 奥村 義雄選

こうなれば地震ない星移ろうよ

千楽

震度七諸行無常と消えた家

英二

消費税租税回避地ないものか

アキラ

守りたい程の事無しマイナンバー

乃り子

天災に無力な自分思い知る

哲子

さあ歌おう花の命はすぐ枯れる

良一

燃え尽きる前に弱音を吐いている

勝利

華やいだ桜の後の虚し日々

哲子

ペン怖い自分の心隠せない

よう子

ピカピカの一年生は監視付き

ばんゆう

力むなと言ってはかけるプレッシャー

俊八

本棚に消化しきれぬ本ふて寝

よう子

遠足と言いつつみんなバスに乗る

俊八

逃げ足の速い野菜の旬の味

勝利

ためらいの筆跡残る遺言書

登美

秀幼稚園桜並木の陰で待つ

英二

軸僕は泣き妻は笑って見るドラマ

義雄

自由吟（共選）

笹倉良一選

老いたとて墨痕淋漓冴える腕

登美

ピカピカの一年生は監視付き

ばんゆう

通り抜け今日が一番よいという

えいじ

力むなど言ってはかけるプレッシャー

俊八

震度七諸行無常と消えた家

英二

子は外し親に付けてる迷子札

ばんゆう

閑人も忙しくなる花見時

えいじ

ペン怖い自分隠せない

よう子

スタンディング オベーションなく桜散る

乃り子

僕は泣き妻は笑って見るドラマ

義雄

燃え尽きる前に弱音を吐いている

勝利

本棚に消化しきれぬ本ふて寝

よう子

藪医者の手には負えない国のガン

義雄

悪いことしか出来ないという笑顔

正清

逃げ足の速い野菜の旬の味

勝利

歪ためらいの筆跡残る遺言書

登美

軸さあ歌おう花の命はすぐ枯れる

良一

### 忘れる (互選)

②しつかりとメモした紙を置いてきた

ばんゆう

忘却はあり得ぬ妻の誕生日

俊八

いつの日か悲しみつきて忘れる日

えいじ

③うっかりにしとこ本当の物忘れ

よう子

半世紀忘れられないこともある

英二

愚痴自慢以外はすべて忘れてる

百合子

ゴメンネを忘れ世の中よくもめる

よう子

みちのくを忘れる間なく肥後大変

千楽

忘却の彼方に苦い過去がある

勝利

④覚えました忘れましたわ英単語

俊八

忘れたい人に再会通夜の席

乃り子

積年の恨み忘れて握手する

勝利

⑥あの曲が忘れた過去を呼び戻す

哲子

最後には自分も忘れ楽になる

義雄

ダイエツト忘れてはしやぐバイキング アキラ

人の道忘れて墮ちるけもの道 義雄

⑦忘れても心のひだは覚えてる 正清

忘却は神の与えた生きる術 百合子

⑬忘れたい傷に他人は触れたがる 良一

\*前回見学した、えいじ（英治）さん（北3）がデビュー。なかなかの好スタート。英二さんがすでにいるので、ひらがなの「えいじ」に。その英二さん、登美さんとも好成绩。

鹿せんべいさんから耳よりなニュース。著書を寄贈してくださる、とのこと。ご厚意に甘えることに。

句会后、初めていきいきホールへ。おしゃべり+お茶で、いつまでも賑やかだった。\*

次回は五月十六日午後一時（日程を四月から第三月曜に変更）から西集会所。

お題は「時計」と「うきうき」、それに自由吟。各2句。

「時計」は連記用で短冊に2句とも書く。自由吟（選者2人による共選）は2部を提出。

問合せ 五十嵐 修 79・0751、

原広子 79・0061